

化学肥料低減実施報告書

作付概要

作物名	作付面積(a)
水なす	15
しゅんぎく	10
その他	10
計	35

計画後に作物名・作付面積が変動した場合は、変更後(実際)の内容を記入してください。

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北000
電話番号	06-0000-0000

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
- 2 「今後の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	令和4年度又は令和5年度の取組	今後の取組
ア 土壌診断による施肥設計	○	○
イ 生育診断による施肥設計	アとエを(計画どおり)実施し、今後も継続して取り組む	
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	◎
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の直		
ソ 地域		
総取組面積	40 a	50 a

◎:水なすとしゅんぎくに加えて、今後はその他の品目(10a)でも堆肥を利用する

ア:土壌診断(水なす 15a)  
エ:堆肥利用(水なす 15a+しゅんぎく 10a+その他 10a)

ア:土壌診断(水なす 15a)  
エ:堆肥利用(水なす 15a+しゅんぎく 10a)

令和4年度又は令和5年度に取り組んだ内容(実施期間、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア~ソ)	取組内容(実績)
ア	実施期間(実施日):令和5年8月10日 取組面積:15a 対象作物:水なす 内容(資材名など):JAの土壌診断結果で施肥
エ	実施期間(実施日):令和6年2月21日 取組面積:10a 対象作物:しゅんぎく 内容(資材名など):もみがら堆肥500kg施用
実施対象	作業日誌の記録のほか ア)土壌診断結果、施肥設計書、施用した肥料の購入伝票など エ)もみがら堆肥の購入伝票などを証拠書類として保管してください。

※作業日誌などに記録している場合は、その写しの添付で記入省略可

化学肥料低減実施報告書

作付概要

作物名	作付面積(a)
水稻	30
じゃがいも	10
その他	5
計	45

計画後に作物名・作付面積が変動した場合は、変更後(実際)の内容を記入してください。

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北〇〇〇
電話番号	06-〇〇〇〇-〇〇〇〇

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「〇」を付してください。
- 2 「今後の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。  
そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	令和4年度又は令和5年度の取組	今後の取組
ア 土壌診断による施肥設計		○
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用	○	○
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時)		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 施肥量・肥料銘柄の見直し		
ソ	○	○
総取組面積	40 a	70 a

○: 今後は新たに土壌診断による水稻の施肥設計により施肥を行う。

クとソを(計画どおり)実施し、今後も継続して取り組む

ア: 土壌診断(水稻 30a)  
ク: れんげ米栽培(30a)  
ソ: 大阪エコ農産物認証・生産(じゃがいも 10a)

ク: れんげ米栽培(30a)  
ソ: 大阪エコ農産物認証・生産(じゃがいも 10a)

令和4年度又は令和5年度に取り組んだ内容(実施期間、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア~ソ)	取組内容(実績)
ク	実施期間(実施日): 令和5年10月22日 取組面積: 30a 対象作物: 水稻 内容(資材名など): 水稻収穫後、れんげをは種
ソ	実施期間(実施日): 令和6年2月15日 取組面積: 10a 対象作物: じゃがいも 内容(資材名など): 種いも植え付け、エコ栽培

作業日誌の記録のほか  
ク) れんげ種子の購入伝票など  
ソ) 大阪エコ農産物認証書、種いもの購入伝票などを証拠書類として保管してください。

※作業日誌などに記録している場合は、その写しの添付で記入省略可

化学肥料低減実施報告書

作付概要

作物名	作付面積(a)
ぶどう	100
その他	10
計	110

計画後に作物名・作付面積が変動した場合は、変更後(実際)の内容を記入してください。

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北000
電話番号	06-0000-0000

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
- 2 「今後の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」)

◎: 今後は全てのぶどう園地で土壌診断による施肥設計により施肥を行う。(40→100a)

取組メニュー	令和5年度の取組	今後の取組
ア 土壌診断による施肥設計	○	◎
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	○
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時)		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 施肥量・肥料銘柄の見直し		
ソ	○	○
総取組面積	140 a	200 a

今後も継続して取り組む(面積等変更なし)

ア: 土壌診断による施肥設計(40→100a)  
エ: 堆肥の利用(100a)

ア: 土壌診断による施肥設計(40a)  
エ: 堆肥の利用(100a)

令和4年度又は令和5年度に取り組んだ内容(実施期間、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア~ソ)	取組内容(実績)
ア	実施期間(実施日): 令和5年10月18日 取組面積: 40a 対象作物: ぶどう 内容(資材名など): 土壌診断による施肥を実施
エ	実施期間(実施日): 令和5年9月28日 取組面積: 100a 対象作物: ぶどう 内容(資材名など): パーク堆肥を施用(1.5t/10a)

作業日誌の記録のほか  
ア) 土壌診断結果、施肥設計書、施用した肥料の購入伝票など  
エ) パーク堆肥の購入伝票などを証拠書類として保管してください。

※作業日誌などに記録している場合は、その写しの添付で記入省略可